

2019年 東洋交通労働組合 共済組合 旗開き・新年会

2019年1月13日(日)、高島平の『王華』にて「2019年東洋交通労働組合・共済組合旗開き新年会」が開催されました。108名の組合員が参加し、17名の来賓がお祝いに駆けつけて下さいました。

菊池執行委員長の挨拶

今後も助け合いの精神で!

「昨年は1年を表す漢字が『災』となったように、地震・台風・集中豪雨と多くの自然災害に見舞われました。亡くなられた方へのご冥福をお祈りし、被災した方々にお見舞いを申し上げ、心より復興をお祈りいたします。また、復興カンパ等、沢山のご協力頂いたこと、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。全自交労連の委員長が『助け合い・支えあい』は労働組合の原点」といつも仰っているように、今後もできる限りの協力をしていきますので、引き続きご支援、ご協力をお願いします」

ライドシェア・白タク合法化問題について

「我々ハイタク業界が守ってきた安全輸送・雇用を根底から破壊しかねない規制緩和は絶対に阻止しなければならぬ」とし、そのためにはタクシの基本である「早くて安く近い道」「安全・安心・迅速・快適輸送」を提供することがプロドライバーであり、さらにどこにも負けない品質と接客サービスが「桜にN」の乗務員、今後も現場での品質維持向上に努めて頂きたいと呼びかけました。また、年末年始にタクシ・バスの死亡事故が相次いだことについて、「安全・安心が売りの公共交通機関には絶対にあつてはならないこと。一瞬の不注意が全ての人に不幸をもたらすという事を忘れて欲しい。組合としても事故防止教育は会社と連携し、協力していく」と述べました。

選挙運動について

2019年は平成最後の年となり、新しい年号を平和としなければならぬとし、政治変革をさせる年として、選挙についても触れ、「4月の沖縄の衆議院補欠選挙・統一地方選挙・7月の参議院選、ダブル選挙もあると言われています。憲法改正に反対するには、改憲に反対する野党候補を当選させることが重要」

とし、全自交労連が推薦する吉田ただとも氏、もりやたかし氏、岸まきこ氏を全力で当選させるとともに、地方32の1人区で野党統一候補を当選させることが参議院で捻じれを起こさせる重要な鍵となると訴え、「政治に興味がない、選挙に行つたことがないという方々にも声をかけ、理解を求め、国民全員が参加し、この国の将来を決めることが重要です」と協力を求めました。

東洋交通について

「責任者・運行管理者が次々と変わり、今や東洋交通の職員は4名のみ。日本交通の出向者が6名ということで、賃金・労働条件・就業規則の違いに運営上の不備をもたらし、組合員の皆さんにはご迷惑をおかけしています。「2018秋闘」では、就業規則・懲戒処分の見直しを一部行い、1月1日から変更されたところもあります。周知については明番集会で詳細を説明しますので、参加をお願いします。

これから「2019春闘」に向けて、要求を決めていかなければなりません。年次有給休暇の取得の義務づけが4月に始まるなど、経営にとつても厳しい年となると思いますが、皆さんが安心して

来賓の方々からは、それぞれの立場からご挨拶を頂戴し、「ライドシェア問題」「職場環境」「政治についてお話をさせて頂きました。この業界を守る為に全力で闘つていこう!



ライオン交通労働組合 大松啓治執行委員長
日交労 藤田健一書記長
全自交東京地運 後藤修美副委員長
全自交労連 藤橋字貴書記長
社会民主党 吉田ただとも候補
日交労赤羽支部 須藤利博支部長
ワイエム交通労働組合 武田竜也書記長
日交横浜労働組合 桑 司書記長

東洋交通からは
仲連取締役
木塚誠天所長
吉岡利高副所長
伊藤敬也次長
より祝辞を頂きました

毎年恒例のピンゴ大会では「4Kテレビ」や電化製品・ブランド品など豪華な景品を取りそろえ、高確率で当選し、大盛況となりました!

年男・年女の皆さんにはお祝いが贈られました



豪華中華料理を堪能し
普段話す機会がない
来賓との交流もあり、楽しい新年会となりました

筒井副委員長の乾杯の音頭で宴会が始まり、今年も全自交岩手地本から美味しい日本酒を送って頂き、組合員の皆さんに振る舞われました。



2019春闘要求に向け 現場の声を集約 第1回 明番集会



2019年2月1日(金)、3日(土)本社棟201会議室において第1回明番集会が開催されました。1日7時から42名、11時から30名が参加し、3日7時から23名、11時から20名が参加をしました。

菊池執行委員長の挨拶では、先日

行われた新年会について「170名の募集に対し、多くのキャンセルがあり、組合員の参加は102名と少なく、当日はビンゴの当選確率が上がり、多数の方が商品を持ち帰り楽しんでいただけたかと思えます。今年参加できなかった人は来年是非参加をして下さい」と述べました。

昨年の明番会等で、何度か報告してきた当初、六本木・渋谷限定での配車サービス「クルー」について、任意の謝礼では白タク行為に当たらないとし、配車サービスが行われていたが、蓋を開けてみれば任意の謝礼が0円なら、次回の配車は行われず任意の謝礼にタクシー料金の半額の相場があるなど、実態はライドシェアそのものという報告が多数あり、証拠を掴んで中止させるために、「クルーの実態調査」を行う事を全労連で決定しました。具体的にはクルーの配車がどのように行われているかの報告と、実態調査への協力を求めました。

先日、東洋交通の整備職員の故・大木洋和氏が急逝されたことを報告し、享年47歳という若さで亡くなられたこと、若くとも健康管理が重要と注意を促しました。心よりご冥福をお祈りいたします。

2019年賃金要求について

- ① 月例賃金
能率給の「足切り」を、現行45,000円から減額変更する事。
- ② 残業時に能率給の腰高が、残業1時間当たりに加算される金額を、4,000円から減額変更する事。
- ③ 嘱託乗務員の基本給を同一労働・同一賃金の原則に基づき、正規雇用と同一基本給に引き上げる事。
- ④ 通勤手当の上限を廃止し、実費まで支給する事。
- ⑤ 賞与部門
賞与配分の各ランクを5%ずつ増額する事。
- ⑥ 退職金制度の新設または企業年金の増額を行う事。
- ⑦ 有給休暇
有給休暇手当は、前3ヶ月間の平均給与とし、賞与分と実車キロ分は賞与に反映させる事。
- ⑧ 1有給休暇と1公休出勤を年間3回認める事。
2. 労働補償の要求
① 「羽田定額」「成田定額」「TDR定額」は、通常メーター料金で賃金計算を行う事。
② 無線配車時の「空転補償」は、完全履行を行う事。乗務員に責任の無い空転については、全て賞与に組み入れる事。
③ 修理手当は1時間当たり800円、新車代替または車検時の待機時間の修理手当は1時間当たり1,000円に増額する事。
3. 高速道路帰路料金の会社負担の要求
① 首都高速の帰路料金は全額会社負担とする事。
② 外郭環状線の帰路料金は全額会社負担とする事。
③ 圏央道の帰路料金は全額会社負担とする事。
④ 首都高横浜北線の帰路料金は全額会社負担とする事。
⑤ 東京湾アクアラインの帰路料金は全額会社負担とする事。
4. スタッドレスタイヤの4輪装着の要求
(12月～3月)
公共交通機関としての義務と責任を果たすため、12月から3月の期間はスタッドレスタイヤを常時4輪装着する事。

《質疑応答》

- 公出の選択制について、何故始めたのか、何故やめたのか明確な回答がなかった。13勤した人のほとんどが公出日を選択しており、実際に賃金も増えていたのでは、継続して欲しい。(執行部) 公出の稼働を上げる為に始めたことでしたが、結果が出なかったということです。やめる時には組合に相談はありませんでした。現場で希望の声が多ければ戻すよう申し入れることを検討します。
- 66万円のバンドル時間のカット無しは救済を復活要求して欲しい。(執行部) 昨年の2018春闘の集約時にも説明しましたが、「救済」ではなく悪用する乗務員が多いことで廃止をしました。また、古い運賃での基準であり、現在で計算すれば80万円以上の売上になります。要求するべきか検討します。
- 休憩時にハーキングメーターを使用するので、料金を会社負担にして欲しい。(執行部) 検討はします。
- 賞与の実車キロによる特別配分を賞与で見直す要求をして欲しい。
- (執行部) 賞与の増額要求はしています。
- 定着率を伸ばすように、3年、5年、7年で功労金を出して欲しい。
- (執行部) 退職金の新設、または企業年金の増額要求を昨年からしています。また、優良乗務員表彰が1年ごとに行われていますし、永年勤続表彰



制度もあります。

● スタッドレスタイヤの要求が実現しないのは何故か？

- (執行部) 日本交通の基準は費用対効果と保管場所の不足です。雪が降る日数が少ない中でシートで履く必要がないというのが回答ですが、組合としては引き続き要求をしていきます。
 - 3点セットの取り扱いが変わり、車両の間違い等があった。乗務員証、カード類は会社が管理すべきであり、もともと戻す要求をして下さい。(執行部) 不都合があるなら、安全衛生委員会と協議します。
 - スリッパや黒タタの降格基準があるのに、下ろされてすぐに復活しているのは問題です。(執行部) 基準通りに行うよう申し入れます。
 - 出番会とシートカバー交換日が重ならないようにして欲しい。(執行部) 申し入れます。
 - ジャパンタクシーのドライブレコーダーの設置位置を再検討するべき。(視界が悪い)
 - (執行部) 調査します。
 - ジャパンタクシーの塗装が弱く、細かい傷があります。クラウンと同様、毛ばたきを装備して欲しい。(執行部) 現在どのように装備されているか調査します。
 - 最高速度の警告音を90kmから100kmに変更して欲しい。また、連続運転の警告も6時間ではなく6時間より前に警告して欲しい。(執行部) 申し入れるか否か検討します。
- その他、無線配車についての改善要求があり、不在の場合のセンター問い合わせ時間の改善、意図的にキャンセルを繰り返すお客様に対して「配車停止」の措置を取ってもらいたい。
- 優先配車の980円は乗務員の賞与に組み入れて欲しい。
- 必着スマホは30分以上先のものでも予約料金がかかるので、時間の改善をしてもらいたい。無線に関する要求は、グループ連絡協議会において協議し、日交グループ全体の要求として申し入れます。
- 2月8日の執行委員会で、今回皆さんから出された意見を集約し、2019春闘要求の追加項目に入れるかを決定し、2月17日の中央委員会で提案します。また、春闘要求項目に入らなかった要求については、安全衛生委員会等で申し入れていきます。